

## 会 議 録 (概要)

会議の名称	平成 29 年度 第 1 回佐渡市行政改革推進委員会
開催日時	平成 29 年 7 月 26 日 (水) 13 : 30～15:30
場所	佐渡中央会館 2 階 開発研修室
議題	<p>1) H 2 9 委員会の年間スケジュール (案) について</p> <p>2) 第 3 次集中改革プランの進捗状況について</p> <p>3) アウトソーシング推進計画の進捗状況について</p> <p>4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来年度以降の行政改革推進委員会の進め方について</li> <li>・ 次回、委員会開催日について</li> </ul>
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、 その理由)	公開
出席者	<p>《行政改革推進委員》(7 名)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会長 西川 祐一 委員</li> <li>・ 職務代理 野口 忍 委員</li> <li>・ 委員 川島敏秀委員、高松登委員、名畑岐委員、笠井淳子委員、 佐藤洋子委員</li> </ul> <p>【市長】 佐渡市長 三浦 基裕</p> <p>【事務局】(4 名) 企画課長 岩崎洋昭、行革推進係係長 椎 俊介、 行革推進係主任 岩野真弓、行革推進係主事 伊藤利幸</p>
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	0 人
備考	

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
事務局 岩崎企画課長	開会
三浦市長	挨拶
	1) H29委員会の年間スケジュール（案）について
事務局 椎行革推進係係長	<p>●事務局説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料No.1「H29年間スケジュール（案）」について説明。</li> <li>・第2回は8月29日（火）または30日（水）を予定している。平成28年度「集中改革プラン」重点6項目の取組状況のプレゼンテーションを実施するので、委員の皆様から最終評価をいただきたい。なお、評価マニュアル及び評価方法については昨年度同様とする。</li> <li>・第3回は10月を予定し、平成28年度集中改革プラン進捗管理についての答申書内容及びアウトソーシング推進計画の見直し原案の内容についての審議を考えている。</li> <li>・第4回は11月を予定し、アウトソーシング推進計画の見直しについて答申書の内容の審議を考えている。</li> <li>・第5回は1月下旬を予定し、平成28年度集中改革プラン進捗管理及びアウトソーシング推進計画の見直しについて答申いただきたい。</li> </ul>
川島委員	<p>●将来ビジョン及び補助金関係の資料の要望について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年3月見直しの将来ビジョンに関する資料及び補助金に関する資料の2点を資料として要望したい。将来ビジョンについては平成29年3月に見直しているかと思うが、平成31年度までの戦略指標も同時に変わっているかと思うので提示をお願いしたい。補助金については、今年度のメインはアウトソーシングについてではあるが、アウトソーシングに補助金の話も関連するかと思うため、提示をお願いしたい。</li> </ul>
西川会長 岩崎企画課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の提供は可能か。</li> <li>・将来ビジョンについては資料を提供する。補助金の資料についても、現在ある資料について整理して提供したい。</li> </ul>
西川会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度、集中改革プランの進捗状況の「補助金等の見直し」について審議した際、農林水産関係の補助金に踏み込めないかといった議論があった。農林水産関係の補助金については、集中改革プランの数値目</li> </ul>

三浦市長	<p>標に掲げられておらず、また、年度途中で質問項目を変更することは手戻りとなり各課への負担となることから、重点項目とすることを見送った経緯がある。行政改革推進委員会がどこまで踏み込むことができるのか論議する必要があるのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農林水産関係の補助金だが、国・県の制度を多数活用している。農林水産関係を外して集中改革プランを議論するわけにもいかないかと思うので資料を整理して提供したい。</li> </ul>
事務局 岩野行革推進係主任	<p>2) 第3次集中改革プランの進捗状況について</p> <p>●事務局説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3次集中改革プランについては、平成29年3月に佐渡市の最上位計画である「佐渡市将来ビジョン」が変更されたことに伴い、数値目標など指標等の変更を行った。また、今回の組織再編に伴って担当課名を変更する。</li> <li>・次回8月の委員会で、「【資料No.3-1】【重点項目】第3次集中改革プラン【H28 進捗管理表】」と委員の皆様から事前に集約した質問事項を基に担当課長のプレゼンテーションを予定している。</li> <li>・昨年度委員より指摘のあった、修正箇所・内容については、修正履歴という形でホームページ上に公開する。</li> </ul>
川島委員	<p>●P D C Aサイクルと企画課のリーダーシップについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度委員会では、P D C AのCheck（検証）とAction（改善）について不明確な部分が多く、それらを明確にした上で改善に取り組む必要があると答申したつもりである。今回提示された資料について、相変わらず分かりづらいという感想をもっている。具体的に何が課題でどのように取り組んだのかが分からない。CheckとActionが具体的に分かるよう資料を示してもらいたい。</li> </ul>
西川会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全く同感である。ただし、当委員会は行政改革推進委員会であって行財政改革とはなっていない。当委員会において財政的な根拠を示すことができず、言葉が踊るだけとなっている。企画課のリーダーシップについては、今年度組織改編があったが、そのあたりには光を当ててもらいたい。</li> </ul>
川島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダーシップを発揮するには、どれだけ理論武装できて、相手に理解してもらった上で説得できるかにかかっているかと思う。企画課職員は理論武装できるようしっかりと勉強してもらいたい。当委員会の委員は企画課をバックアップしたいと考えている。</li> </ul>
三浦市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画課と財政課を一つの部としたのは、背骨を一本通す意味があった。</li> </ul>

	<p>昨年度、行政改革課は一つの課であったが、各課との連携が必ずしも上手くいっていなかった。今年の4月から、週一回の部長級職員を中心とした政策会議を開催している。その取り仕切りを企画課で実施することで、企画財政部に取組状況が集約される仕組みが構築された。お役所仕事は補助金行政も含めてPlan（計画）、Do（実行）で終わってしまうことが多い。しかし、一番重要なのはCheckからどのようにActionにつなげるかである。それについては、各ミーティングで伝えているので、皆様の質問についてはより具体的に回答したい。</p>
高松委員	<p>●スクラップ&amp;ビルドについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スクラップ&amp;ビルドという記載について、文言にしていれば一つの単語に過ぎないが、事業を実際にスクラップするのはかなり大変なことである。一つの事業をスクラップするのに3年はかかるかと思う。事業の多さが時間外勤務の増大につながっていることもあり、スクラップに大きくエネルギーを傾ける必要があるかと思うが、類似事業を統合するにあたって、それぞれの事業を手広く実施している場合もあり、かなり難しい作業になるのではないかと。市民への説明もあるため8月にいきなり事業を廃止とすることは難しい。類似事業をリストアップして統合していくのであれば抵抗も少ないのではないかと考えている。</li> </ul>
西川会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政は一般的に経営上の圧力がないと言われている。民間企業と同じような圧力がないとなかなか変わることができないのではないかと。</li> </ul>
野口職務代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>私が当委員会でサンセット方式について言及し始めてから数年経っているが、課長補佐以上の職員にはサンセット方式について浸透しているかと思っている。</li> </ul>
野口職務代理	<p>●保育料の口座振替率について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「3-1 収納対策の強化」における保育料について、平成27年度実績は64.7%である。しかし、「H28年度取組内容」においてH28年度4月の口座振替率が48.3%に対してH28年度3月が57.4%との記載がある。このような変動は、毎年口座振替を利用している方々が卒園し、新たに入園した方々がまだ口座振替を利用していないことによって生じているのか。</li> </ul>
事務局 岩野行革推進係主任	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当課に確認したところ、委員お見込みのおりの理由から口座振替率が落ちているとの説明を受けている。</li> </ul>

野口職務代理	●総合窓口の設置にかかわる偽装請負への対応について
事務局 推行革推進 係係長	・「11-1 総合窓口の検討・実施」の「平成 28 年度課題と対策」に「偽装請負への対応」との文言が記載されているが、行政文書に記載することは適切か。
事務局 岩崎企画課 長	・どの自治体でも課題となっているが、市が受託者を指揮監督するにあたって、相手方の社員に直接指示することができないため、指揮命令系統のあり方や執務スペースの配置が課題となる。この課題を文書に記載することで特に問題が生じることはないと認識している。
事務局 岩崎企画課 長	・業務を委託する際に、委託したにもかかわらず、市が相手方の責任者を通さずに相手方の労働者に直接指示すると偽装請負にあたるため、対策が必要であるということである。
野口職務代理	・受託した業者が請け負った業務をそのまま別の業者に委託するタイプの偽装請負ではないということか。
事務局 岩崎企画課 長	・課題としているのは、委託したにもかかわらず直接労働者に指示することで、実態が労働者派遣と見なされるタイプの偽装請負である。窓口を執務スペースから独立させることによって、委託可能な環境を整えたいと考えている。
西川会長	●重点項目以外への提言について ・今回審議するのは重点項目のみか。「【資料No.3-2】【重点項目以外】第3次集中改革プラン【H28 進捗管理表】」について審議する予定はないか。
事務局 推行革推進 係係長	・今回審議するのは、「【資料No.3-1】【重点項目】第3次集中改革プラン【H28 進捗管理表】」に基づき重点項目のみを予定している。
西川会長	・「【資料No.3-2】【重点項目以外】第3次集中改革プラン【H28 進捗管理表】」について提言することは可能か。
事務局 推行革推進 係係長	・重点項目以外については、別途様式を用意するので、そちらで集約したい。
西川会長	・農林水産関係の補助金の話も含め、精査した上で、どのように提言することが可能か検討してもらいたい。
川島委員	●重点項目以外への提言について ・8月に担当課長からのヒアリングを実施するとのことだが、集中改革プラン以外で気になっているのが総合教育会議についてである。平成28年度第2回会議で仲川委員が、中学生の学力検査の結果、特に数学について学力低下の心配を指摘されているが、学校教育課から何も回答がないように思う。また、本年3月に策定した教育振興基本計画についても、教員に対しての目標を追加して欲しいと考えているが、

<p>三浦市長</p>	<p>その話をどこかでできないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•教育委員会に対してのヒアリングの場も設けてもらいたいと考えている。今回見直しを予定しているアウトソーシング推進計画について、公共施設のアウトソーシングが含まれることから、行政改革の対象から教育委員会を除くことはできないと考えている。その点について踏み込めるよう調整してもらいたい。</li> </ul>
<p>西川会長 事務局 岩崎企画課 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•教育委員会へのヒアリングについては事務局で調整してもらいたい。</li> <li>•調整する。資料については、将来ビジョンと同じく事務局で用意して送付する。</li> </ul>
<p>事務局 伊藤行革推 進係主事</p>	<p>3) アウトソーシング推進計画の進捗状況について</p> <p>●事務局説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•計画に記載されている取組 23 項目について、平成 29 年 3 月に平成 29 年 2 月までの進捗状況を各課からの報告をとりまとめた結果、進捗状況は、平成 28 年以前から実施している取組が 2 項目、平成 28 年度から実施した取組が 3 項目、準備・手続きしている取組が 2 項目、検討している取組が 12 項目、導入しないとした取組が 4 項目となっている。</li> <li>•見直し実施以降に導入実施された取組みは 3 項目に留まっており、導入目標時期を平成 29 年度としていた業務についても、公募に応じる団体がなかったことや、内容の精査などから導入が進んでおらず、既に導入実施している業務についても、直営で実施した方が効率的であるなどの課題が見受けられる。また、今年度の組織変更に伴い、施設を所管する担当課が変更になったことから、施設の在り方や活用方法について抜本的な見直しを要する業務や、これまでの検討の結果、アウトソーシングを導入しないとした業務もある。</li> <li>•アウトソーシングについては、今後の職員数削減を見据え、現状の市民サービスを維持していく観点からも推進していく必要があるため、各課の抱える問題・課題を精査したうえで、より現実に即した計画に見直す必要があると考えている。</li> </ul>
<p>野口職務代理</p>	<p>●システム導入による業務の効率化と総合事務センターについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•計画の見直しを今後検討するにあたって、直近で市の職員にアンケートを採ることはできないか。他の業務と類似しているため、集約して実施した方がより効率的ではないかという部分があるのではないかと。我々委員は実務や実態について理解しているわけではないので、それを理解する上でも実施してもらえるとありがたい。</li> <li>•市の職員が業務上利用しているシステムについて、可能な範囲で示し</li> </ul>

川島委員	<p>ていただくことはできないか。また、システム化のプラン等はどこが所管しているのか。システム化によって余計な仕事を剥ぎ取った上で、アウトソーシングの議論をしないと本末転倒になりかねないのではないか。そのためにも、どこまでの範囲でシステム化しているのか示してもらいたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐渡市は基幹システムと情報系システムの2系統に分かれていたかと思う。</li> </ul>
西川会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「No. 11 総合事務センター運營業務」にも関わるかと思う。全体の事務のどの部分を切り分けるのか説明してもらいたい。</li> </ul>
事務局 伊藤行革推進係主事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「No. 11 総合事務センター運營業務」については、現時点においては、各課における窓口業務と、総務事務センターで実施している伝票起票や袋詰めといった単純業務の委託を予定している。現時点においてシステム自体の大幅な変更の予定はないと考えている。</li> </ul>
西川会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム化やICT化によって現在の業務が軽減されるのではないか。アウトソーシングを議論するにあたっては、システム・ICT化が良いのかアウトソーシングがよいのかも含めて議論する必要があるのではないか。</li> </ul>
川島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合窓口業務を提案するにあたって。どのようなイメージをもっていたのか示してもらいたい。そのイメージがあって、初めてシステム化が良いのか、職員の配置が必要なのかが分かるのではないか。</li> </ul>
西川会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先ほどの事務局の話を整理すると、窓口は窓口のシステム、事務処理には事務処理のシステムがあると思料する。なので我々も2つのシステムを見た上でも提言したいと考えている。</li> </ul>
事務局 岩崎企画課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員の提言については、関係部署と調整した上で、資料等を整理してお示ししたい。</li> </ul>
	<p>4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度以降の行政改革推進委員会の進め方について</li> </ul> <p>●事務局説明</p>
事務局 岩崎企画課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の組織再編により、昨年度までの行政改革課は企画課の行革推進係に縮小され、また、委員の任期についても今年度で最終年度となっている。</li> <li>・行政改革については、市長の施政方針におきましても「市民が主役の行財政改革」と謳っており、また佐渡市将来ビジョンにおいても「行革の指針」として、不断の行政改革を掲げている。</li> <li>・当委員会には組織編成、事業仕分けといったニーズの声もあるが、現在の状況の中で、委員会としての存続の在り方について1度整理する</li> </ul>

	<p>必要があると考えているが、今後も引き続き議論を重ねながら、最終回を目処に委員ご自身からのご意見を頂戴したいと考えている。</p>
川島委員	<p>●行政改革推進委員会の今後について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提言した内容がどれだけ反映されているか、結果を見たいと考えている。少しでも結果を見ることができれば、やりがいがあったと言えるのではないか。結果は Check (検証) でしか見ることができないので、今年の検証が間に合わなければ来季以降も考えなければならないのではないか。</li> </ul>
西川会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政改革というと、仕事の仕方や事務処理の方法に止まってしまい、数値的な裏づけが弱く、結果を定量的に把握できない部分があり、ジレンマを感じる。行政改革の体質を変えて行財政改革とすることによって結果も出てくるのではないかと。予算と連動することで、意識も変わるかと思う。</li> </ul>
高松委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市として当行政改革推進委員会に何を求めているのか、明確にした方が良いと思う。限られた時間の中で、諮問された事項について、どのように審議を進めるのか、当委員会に期待するところをより明確にしてもらいたい。</li> </ul>
西川会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の委員会において、当委員会は市長から諮問のあった事項について集中して審議し、答申するという方針を整理したかと思う。市として当委員会に何を求めているのかをしっかりと示していただきたい。</li> <li>・次回、委員会開催日について 8月29日(火)を次回開催日とした。</li> </ul>
野口職務代理	<p>閉会の挨拶</p>